

グランボレ・カップ 2019 Aug

開催日程：11/7-11/8 (2020)

開催趣旨：

本イベントは、グランボレ・パラグライダースクールが会員向けのイベントとして実施し、利用するグライダーを問わず、また所有ライセンスや立場に関わらず、すべての技術レベルのパイロットが競技に参加しパラグライダーを楽しみ、開催当日エリアにいるすべての人が空中もしくは地上での大会観戦を楽しむこと、ならびに、競技参加者の技術や競技への姿勢をみたりコミュニケーションすることで、会員のモチベーションと技術の向上を図る目的で開催する。この趣旨を理解し協力をしていただける外部から競技者を招待し開催をする。

競技内容：

1. パイロンレース

➤ Race to Goal を基本とする、グライダークラスによるハンディキャップ戦

2. ミニアキュラシー

➤ 講習ゲレンデ上段からのフライトによるアキュラシー的な競技内容（ターゲットへのランディング精度を競うゲーム）

3. グラハンスラロームレース

➤ 講習ゲレンデでのグランドハンドリングのスラロームレース

(補足)

● パイロンレースのハンディキャップについて

- 以下のグライダークラス毎によるシリンダー半径の設定
- EN-A：600m、EN-B：400m、EN-C：300m、EN-D以上：200m
- ゴールシリンダーについてはグライダークラスを問わず同半径を原則とする
- できる限り同一タスクでの開催を試みるが、EN-A（ならびに一部の EN-B）クラスのグライダーについては、タスクの一部を省略する等、別タスクとなる可能性がある
- 天候状況等により競技委員長ならびに副委員長がハンディキャップやレギュレーションを変更する

● ミニアキュラシーとグラハンスラロームレースについて

- コンペ開催の3日の期間中、競技委員長ならびに副委員長が当日のコンディションで判断しどちらかの競技をおこなうかを決定し競技を実施する
- 1日で行うのは、どちらか一方の競技のみとする

- 3日間で、ミニアキュラシーとグラハンスラロームレース両方が1回以上開催されるよう運営を行う

大会競技委員長：小林晋（グランボレ・パラグライダースクール）

大会競技副委員長：古賀光晴（グランボレ・パラグライダースクール）

定員：30人（お申し込み多数の場合、先着順とさせていただきます）

参加資格：

- グランボレパラグライダースクール会員もしくは、グランボレからの招待者
- パイロンレース
 - グランボレ会員：JPA および JHF のパイロット技術証所有者
 - 招待者：JPA および JHF のエキスパートならびに XC 技術証所有者
- ミニアキュラシー
 - パイロンレース参加者及び、グランボレ会員で高高度フライトの経験をしている者
- グラハンスラロームレース
 - JPA パラメイト、JHF A 級パイロット証以上のライセンス所有者で高高度フライトの経験をしている者
- いずれもの競技も、第3者賠償責任保険加入者ならびにパイロット自身の傷害保険に加入している者
- パイロンレースについては、上空使用が可能なデジタル簡易無線ならびに、ツリーランセットを保持しフライトすること
- パイロンレース、適切なリガーにより期間内にリパックをされたレスキューパラシュートを保持しフライトすること
- グランボレカップの開催趣旨、留意事項ならびに草レースであることを理解いただくこと

参加費用：

- グランボレ会員 ¥0（当日の施設利用料は別途必要）
- 招待パイロット ¥0

タイムテーブル：

8:00 受付開始

8:30 競技開始の挨拶と説明

8:45 GV 体操

- 9:00 パイロンレース参加者のテイクオフ移動開始
- 10:00 パイロンレースのテイクオフブリーフィング
- 10:30 パイロンレース開始
- 14:00 パイロンレース終了
- 14:30 ミニアキュラシーもしくはグラハンスラロームレースの実施
- 15:15 順位発表と表彰（12日-13日は簡易の順位発表のみ）
- 17:00 秋刀魚パーティ（13日のみ）

順位について：

- 大会順位

- 3競技全ての各単独競技としての順位を確定する。
- あらかじめ決められた各競技の順位での点数を3競技総合で合算して大会総合での順位づけを行い、総得点の高い者を「GVクラブコンペ 2019」の優勝者とする
- 各競技で、順位による点数の重みは同一とする（例：パイロンレース5位が5点なら、ミニアキュラシー5位の点数も5点で同一）
- 主催者のチーム分けによるチームでの総合得点でチームでの順位づけを行う可能性がある

- パイロンレース順位

- グライダークラスを問わず、ゴールシリンダーをカットした順を大会競技での順位とする、また、結果についてはゴール順位と時間のみの発表とする
- 計測については、計測ソフト仕様の都合上、計測ソフト上でのウェイポイントの到達確認については、シリンダー400mでの判定を基準とし、その他のシリンダー半径での到達確認についてはパイロットの自己申告とする
- ゴール以外では到達時間の計測による順位付けはせず、到達できたパイロンにより順位づけを行い、同一パイロンの到達であれば同順位とする
- 判定ソフトや機材の不調により計測が不可能な場合、自己申告での順位確定をする

- ミニアキュラシー順位

- スタート順は、くじ引きとする。
- 設置されたターゲットからのランディング位置の距離により順位を確定する
- ランディングの認定は足の裏でのランディングのみとする。ハーネスタッチ・膝付き・手付き等は、失格とする。
- 上段テイクオフにはインストラクターがつきサポートをするが、スタ沈3回で失格として順位判定を行わない
- 上段テイクオフのインストラクターならびに、ランディング計測のインストラクターの

判断により危険行為をしたとみなされ空中ならびに地上で警告を受けた場合、失格として計測と順位判定を行わない

● グラハンスラローム順位

- ゴール到達時間による順位確定を行う
- 不通過のパイロンがあった場合、ゴールをするまではそのパイロンまで戻りレース継続を認める
- パイロン不通過でのゴールは失格として順位計測を行わない
- 指定エリアを逸脱した場合、失格として順位計測を行わない
- ライズアップ後にグライダーが接地した場合、設置点より一つ前のパイロンまで戻りライズアップをしてからレース復帰をする
- 両足が3秒以上接地していなかった場合、ゴールタイムに30秒のペナルティを加算する、また、5秒以上両足が接地していなかった場合、失格として順位計測を行わない
- その他、運営インストラクターが危険行為と認める行為があった場合、失格として計測・順位判定を行わない

留意事項：

- 大会開催当日には、グランボレパラグライダースクールは通常のスクール営業とパラグライダー以外のサービスに関する通常営業をしています。競技実施時にはできる限り競技参加者の優先を配慮いたしますが、特にパイロンレースについてはフライト中の空域やランディングでは、協会公式大会と異なりレース参加者が優先されるわけでは無いことをご理解ください。
- 全ての競技の参加者は、グランボレの入山規定に同意の上でフライトをしていただきます。

必要装備補足：

- 原則 EN/LTF 認証を受けたグライダーを利用
- パイロンレース参加者は空中利用が可能なデジタル簡易無線 GPS、携帯電話、ツリーランセット、期限内をリパックされたパラシュート等、通常のフライト装備一式

補足：GPS についてはPC 接続時にマストレージとして認識される GPS デバイスを原則として、それ以外での参加を希望する参加申込時にお問い合わせ下さい。

参加お申し込み・お問い合わせ：

- GV 会員お申し込み時フォーム
 - <https://forms.gle/EixnWnMcFqvHJCSk6>
- ビジターパイロットお申し込みフォーム
 - <https://forms.gle/aMkBi1836z25vzTm7>
- お問い合わせ
 - TEL - 0278-62-1274 / Mail - info@grandvolee.jp
 - 担当 - 根岸